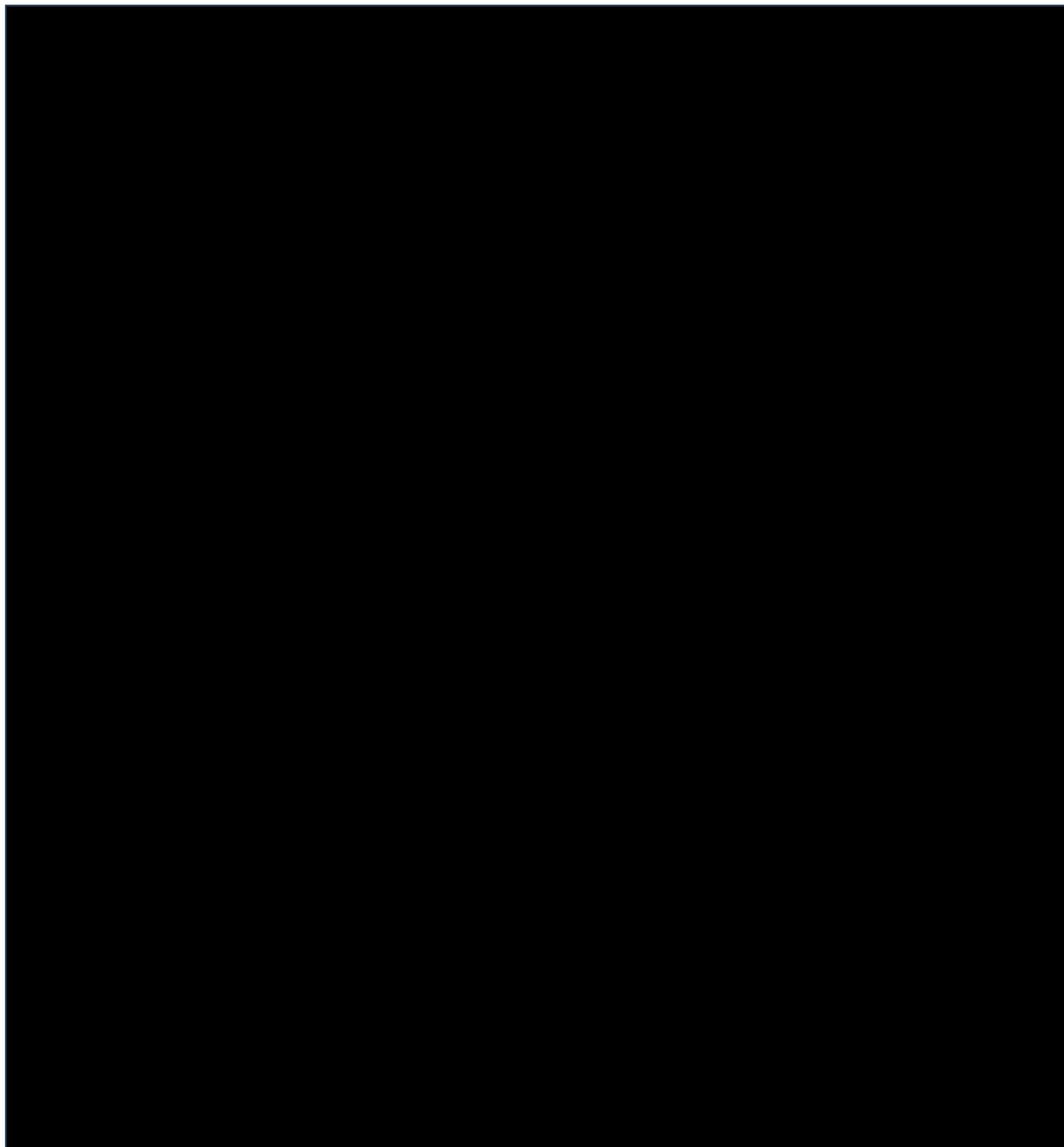


2025年度大学院修士課程一般入学試験（第I期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.1）

問題I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



川添愛(2023)『世にもあいまいなことばの秘密』ちくまプリマー新書、4-6

*問題本文は著作権法上の理由から記載することができません。上記出展箇所をご確認ください。

2025年度大学院修士課程一般入学試験（第I期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.2）

問1 ____アが生じる原因を簡潔に説明するとどうなるか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問2 ____イと同じ用法のものを①～④の中から選び、その用法を説明しなさい。

- ① このままでは、がちでやばい。
- ② 余ったものを早いものがちで配ることにした。
- ③ ゲームで一人がちしたので、友だちからうらまれた。
- ④ 最近病気がちで、あまり元気がない。

問3 「ウ」に適切な反論の言葉を選び、それを選んだ理由を述べなさい。

- ① 勉強しない大学生が多すぎるから、しかたがないでしょ
- ② 大学生がみな勉強しないなんて書かれてないし、一部の大学生に限った話でしょ
- ③ まじめに勉強する学生がほとんどいないんだから、当然のことじゃないの
- ④ 勉強しない大学生の実態について知りたい人なんて、いないんじゃない

問4 ____エは具体的にどのようなことをすることか、説明しなさい。

問5 「A」、「B」に適切なものを次の中から選んで、記号で解答しなさい。

- ① 大学生のうち、勉強しない人たち
- ② 大学生と言っても、勉強しないわけではない
- ③ 勉強をしない、大学生というもの
- ④ 勉強しないのは、大学生にかぎらない

問6 ____オに当てはまる例を2つ考えて、説明しなさい。

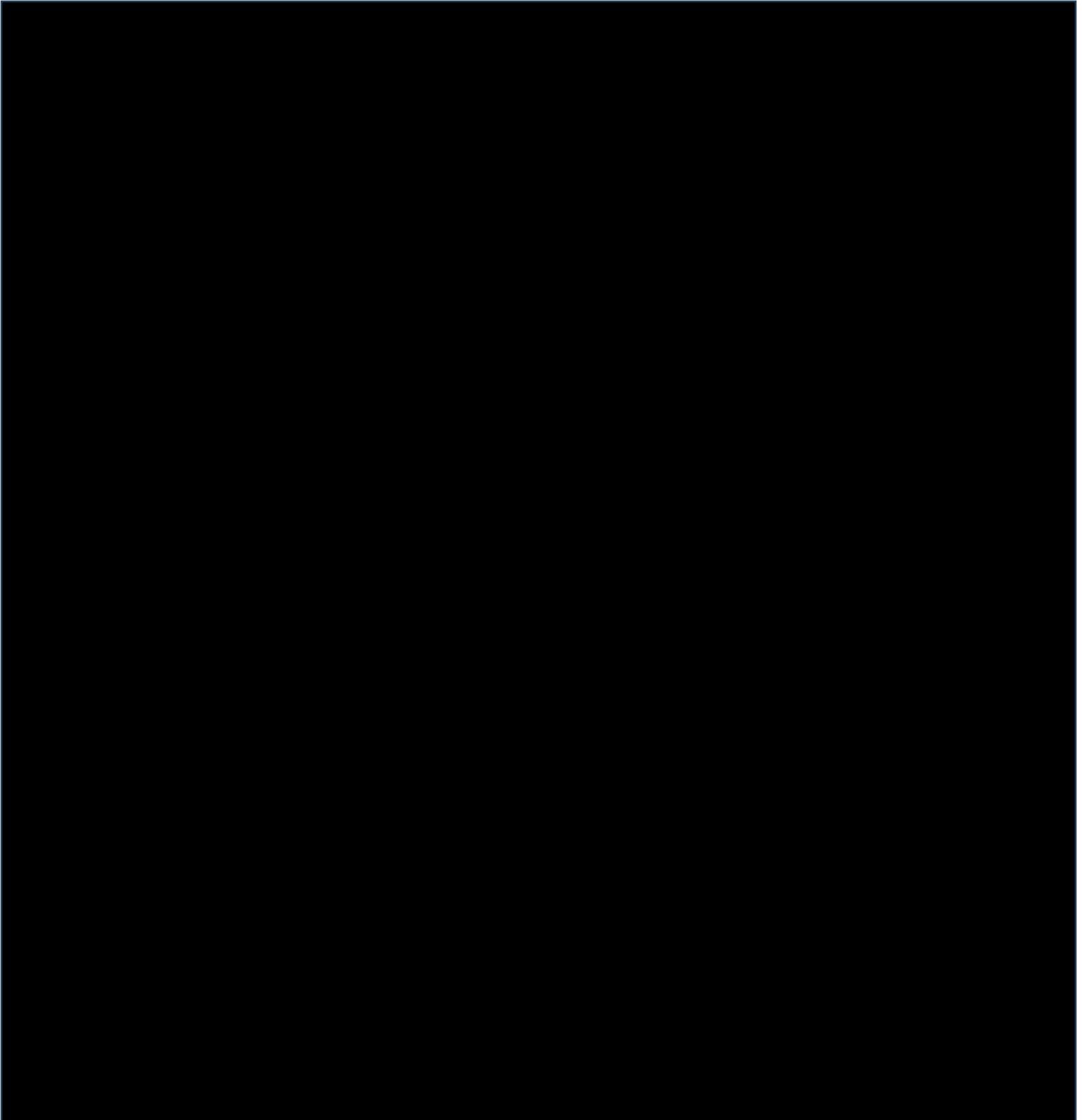
問7 「C」に当てはまる言葉を考えて、書き入れなさい。

問8 この文章によって、筆者が何を言おうとしているのか、説明しなさい。

2025年度大学院修士課程一般入学試験（第I期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語 (No.3)

問題II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



市川慎一（2004）「ザビエルと Deus の訳語「大日」」『月刊言語』 vol.33, No.12.

*問題本文は著作権法上の理由から記載することができません。上記出展箇所をご確認ください。

2025年度大学院修士課程一般入学試験（第I期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語（No.4）

問1 （ア）に入る適切な文を、以下の①から④の中から選びなさい。

- ① 宣教師たちは努力を重ねたのだ。
- ② 問われるのはまれな点なのだ
- ③ 広く知らせなければならぬのだ。
- ④ 通訳者の存在を抜きには語れないはずなのだ。

問2 ____イと同じ意味になる文を、以下の①から④の中から選びなさい。

- ① 当たり前のようにみんながそう思っていた
- ② 多くの情報が隠されて流されていた
- ③ 本当のことが本当でないように話されていた
- ④ 一番重要な情報が抜けたまま話が流れていた

問3 ____ウはどのようなことを意味しているか、自分の言葉で説明しなさい。

問4 ____エと同じ用法になる文を、以下の①から④の中から選びなさい。

- ① 体調が悪いので、くすりをかう
- ② 村の生活を良くするために、ロバをかう
- ③ 上司から入社以来、絶大な信頼をかう
- ④ どろぼうが入らないように、かんぬきをかう

問5 ____オはどのようなことを意味しているか、自分の言葉で説明しなさい。

問6 この文章によって、筆者が何を言おうとしているのか、説明しなさい。

解答または解答例：

Answer Keys or Examples：

問題Ⅰ

問1 修飾関係があいまいなために複数の解釈が生じるから。

問2 ④ よくない傾向が強いことを意味する。

問3 ② 大学生全員が勉強しないと言っているわけではないから。

問4 自己主張にこだわるのではなく、相手の意見について考えること。

問5 A：③ B：①

問6 (二重解釈できる例を2つとその説明)

※これでけっこうです／大丈夫です／わたしが好きな人・・・など何でもよい

問7 「曖昧さがどういうときに起こるか」 ※文意が通じればよい

問8 言葉はさまざまな解釈ができる場合が多いから、自分の言葉が誤解を与えるかもしれない、相手の言葉には違う意味があるのかもしれないというように多面的に考えるようにすることがすれ違いを防ぐことになる。

問題Ⅱ

問1 ②

問2 ①

問3 ヴォルテールの言っていることと同じようなことを言う・その意見に同調する etc.

問4 ③

問5 東洋の言語と西洋の言語は、文法や意味のみではなく、文化や宗教や常識などの背景世界が違うので、同じように解釈することはできない

問6 有名なザビエルがどのように布教をしたのか、日本語能力の側面からの記述がないが、実際にはかなりの苦労があったはずで、その1つとして、最も重要な「神」という言葉の翻訳でさえかなりの行き違いがあり、単なる言葉の置き換えではなく、背景的な知識が必要だ。

出題意図：

Intent of Questions：

問題Ⅰ

語の意味は絶対的なものではなく、文脈や場面などによって違ってくるといふ言語研究や言語教育にとって基本的なことを認識していることと同時に、言葉について書かれた平易なエッセイを正確に読み解く日本語能力があるかどうかを判定する

問題Ⅱ

日本語教育関連の中で、日本語教育史も問われるべき知識なのだが、多くの学習者は文法や音声など、日本語の構造のほうの学習に偏っている。日本語教育史の文章で、慣れない語彙を読みながら、どれくらい内容が理解できるのかを問い、日本語の文章読解の能力を測ろうと意図している。